

第 1 次与那原町教育大綱

～『豊かな学び、文化が根づくまちづくり』を
目指して～

平成 27 年 12 月
与 那 原 町

『豊かな学び、文化が根づくまちづくり』を 目指して



与那原町は、山原船や軽便鉄道といった交通機関による産業経済の集散基地として、沖縄全域と交流をなす商工業の拠点として栄えてまいりました。

本島内では最も面積の小さなまちですが、国道 329 号と国道 331 号が交差する位置にあり、那覇方面や本島中部方面への移動の利便性が高く、近年ではマリントウプロジェクトにより誕生した東浜地区で市街地が形成され、大型MICE施設の建設、沖縄女子短期大学の移転開学など、新たな魅力を備えつつあります。

本町では、学習面の一層の向上及び伝統文化の継承と発展に力を入れ、「豊かな学び、文化が根づくまちづくり」を県内外へ発信して行くための体制強化を図りたいと考えております。

国家を形づくるのは「人」であり、「人」を育てるのは教育です。将来を担う子どもたちが、個性的で創造性に富み、国際性豊かな、しかも人間性に満ちあふれる人として育つことを願い、快適な教育環境作りを行うため、与那原町教育大綱を制定し、着実な実現に向けて取り組んで参ります。

平成 27 年 1 2 月

与那原町長 古 堅 國 雄

本計画の基本的事項

名称；与那原町教育大綱

期間：平成 27 年 12 月～平成 31 年 3 月

豊かな学び、文化が根づくまちづくり

- (1) 学校教育
- (2) 家庭教育
- (3) 社会教育
- (4) 文化・スポーツ活動
- (5) 教育の機会均等を図るための子どもの貧困対策の推進

(1) 学校教育

1) 学校と家庭、地域の交流・情報公開

現状と課題

- 学校と家庭、地域との連携が弱くなってきています。
- 学校と家庭、地域との話し合いなどの情報の共有が行える環境づくりが求められています。
- 地域教育懇談会への参加者を増やすための方策を検討する必要があります。

施策の方向

【基本方針】

学校と家庭、地域が一体となった活動を進めていくために、情報の共有をはかり教育に関する情報公開に努めます。

【施策の概要】

① 学校と家庭、地域の交流

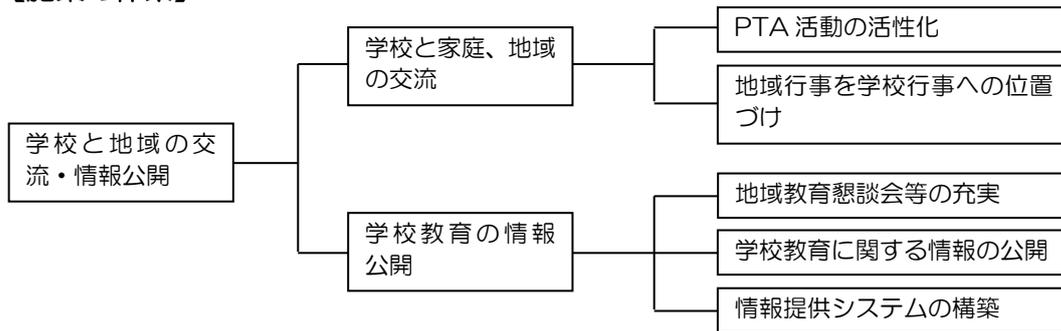
- 学校と家庭、地域との交流が行える教育活動を充実させるため、PTA活動などの活性化に取り組みます。
- 学校と家庭、地域による活動を活発にしていくため、地域行事等を学校行事の一環として位置づけます。

② 学校教育の情報公開

- 学校と家庭、地域に関する課題の情報を共有するため、地域教育懇談会や教育講演会などを充実させます。
- 学校や町の広報紙、ホームページなどを活用し、学校教育に関する情報の積極的な公開に努めます。
- 迅速に情報を提供するため、メールなどによるシステム構築を検討します。



【施策の体系】



2) 教育学習環境の充実

現状と課題

- 幼小中合同授業研修会を開催し、職員間の共通理解を図っています。
- 支援を必要とする幼児や児童生徒の個に応じた学習支援や居場所づくりを行っています。
- 学力向上の一環として、学力向上強化月間や家訓運動などを実施しています。
- 体験学習の一環として、小学校では1日の職場見学、中学校では5日の職場体験を実施しています。
- 幼稚園における預かり保育の充実が求められています。
- 子ども達が安心・安全で楽しい学校生活を過ごせるよう、教育学習環境が整う学校を目指す必要があります。
- 児童生徒一人ひとりの学力向上のため、家庭学習や読書を充実させる必要があります。
- 支援を必要とする児童・生徒への理解を深め、通常の学級での授業や行事に参加できる学習機会等の充実が求められています。

施策の方向

【基本方針】

幼児や児童、生徒が豊かな心で健やかに学べるよう、快適な学習環境の整備を図り、知・徳・体の調和のとれた学校教育に努めます。

【施策の概要】

① 幼児教育の充実

- 幼児が安心・安全で楽しい幼稚園生活を過ごせるよう環境整備に取り組みます。
- 幼児の特性、家庭や地域の実情を考慮した「幼児教育振興アクションプラン」を策定します。
- 幼児がより豊かな体験ができるよう、幼児の興味や関心に応じた取り組みを行います。

- 幼稚園と保育園が必要に応じた情報を共有し、幼稚園教育の充実を図ります。
- 個に応じた学習指導が求められていることから、幼小中合同授業研修会などにより教職員の資質向上や意識改革に努めます。

② 学校教育の充実

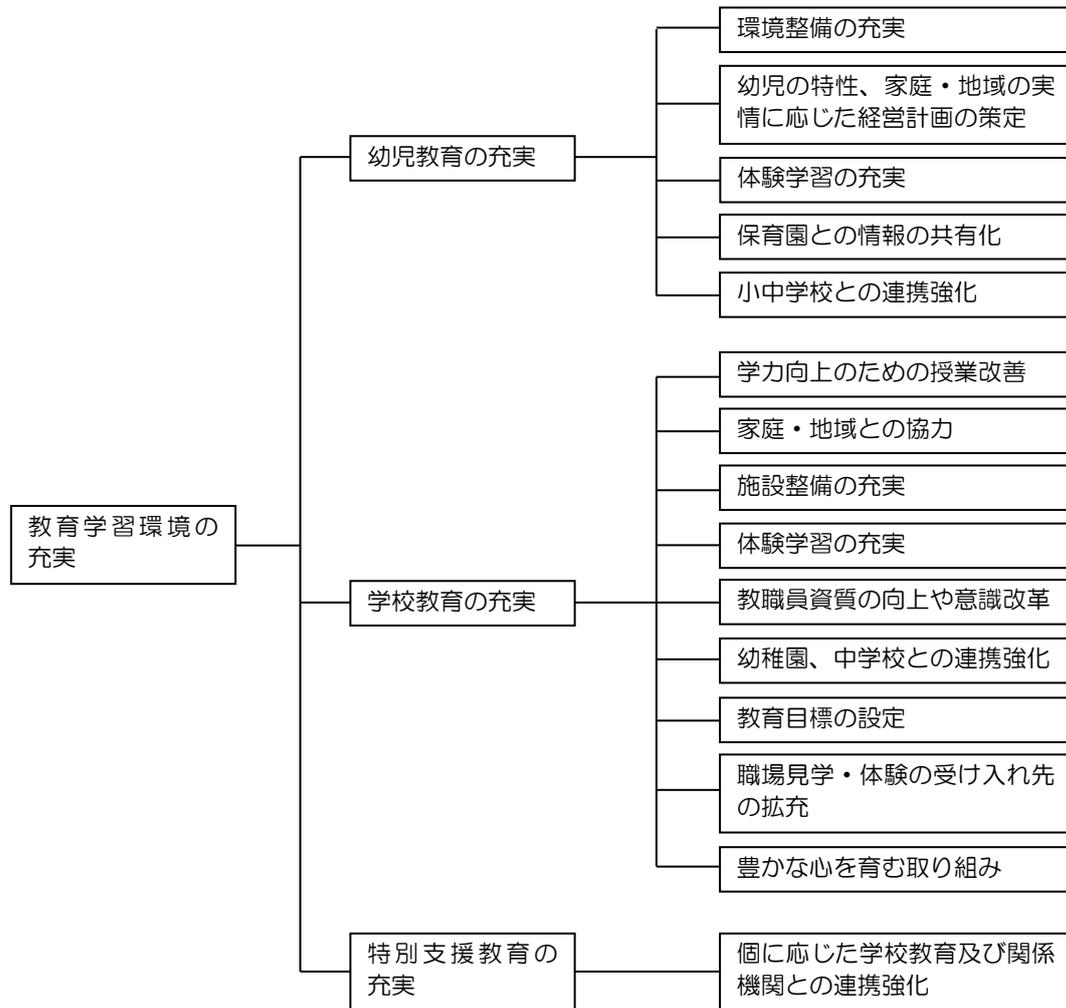
- 児童生徒の豊かな心を育むため、「知・徳・体」の調和のとれた教育に努めます。
- 将来を担う子ども達の夢や希望の育成のため、社会体験や自然体験などを活かした体験学習の機会を増やします。
- 個に応じた学習指導が求められていることから、幼小中合同授業研修会などにより教職員の資質向上や意識改革に努めます。
- 確かな学力の向上を図るため、「授業改善プラン」の支援を行います。
- 小学校と保育園・幼稚園が必要に応じた情報を共有し、学校教育の充実を図ります。
- 学校や家庭、地域の協力を得ながら、学力向上の取り組みを進めます。
- 教育環境の充実のため、学校の施設整備を行います。



③ 特別支援教育の充実

- 支援を必要とする児童や生徒が生きがいを感じ充実した学校生活を送るため、個に応じた学校教育に努めます。また、関係機関との連携を図ります。

【施策の体系】



(2) 家庭教育

現状と課題

- 朝ご飯を食べない子どもが増えています。
- 毎月第3日曜日を「ファミリー読書の日」、毎月第3土曜日を「おきなわ地域教育の日」として推奨しています。
- 家^やなれ^り—^りど^ろ外^はなれ^り—運動に取り組んでいます。
- 学習規律の向上のために、家庭においては子どもの躾をきちんと行うことが求められています。
- 生活リズムを安定させるためにも、子どもたちの朝ごはんの摂取率を上げることが重要です。
- 学力向上を図るために、家庭学習や読書の習慣化を図ることが必要です。

施策の方向

【基本方針】

家庭教育に関する知識や技能等の情報提供や支援の整備体制整備など、家庭教育支援の充実を図ります。

【施策の概要】

① 家庭教育支援の充実

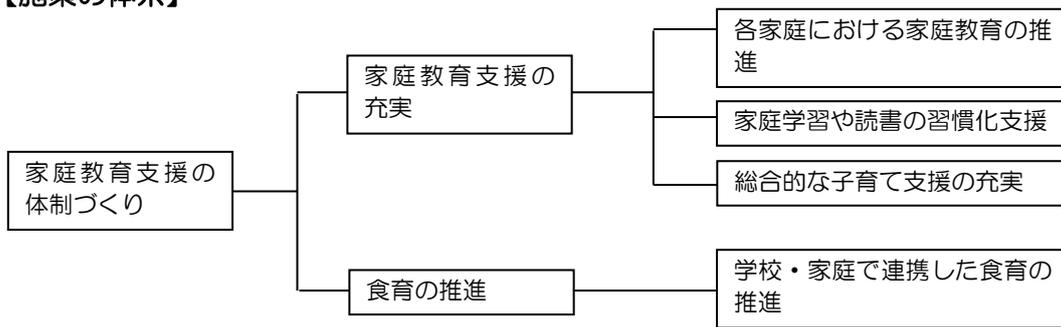
- 家庭での躾が重要であることから、当たり前のことが当たり前に行える基本的な生活習慣の確立に向け支援します。
- 家庭学習やファミリー読書の習慣化に向けて支援します。
- 子育てに関する知識や技能を身につけ、魅力ある子どもを育てるため、子育てに関する学習会や実践講習会など関係機関と連携し、総合的な子育ての支援を行います。



② 食育の推進

- 食育は、幼児や児童、生徒のさまざまな教育の基礎となる重要なものであり、学校と家庭が連携した食育を進めます。
- 食育の一環として「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を進めます。

【施策の体系】



(3) 社会教育

1) 人材の活用

現状と課題

- 生涯学習の趣旨は、自ら学び、行動することですが、行政主導の傾向になっています。
- 個々の持っている多様な能力を活用できるように、人材バンクへの登録を目指していますが、人材バンクの登録が少ない状況となっています。
- 住民が主体となった講座の開設に必要な指導員の育成が課題となっています。
- さまざまな講座を開設するため、多様な能力を持った人材を把握し、人材バンクへの登録を充実させることが必要となっています。

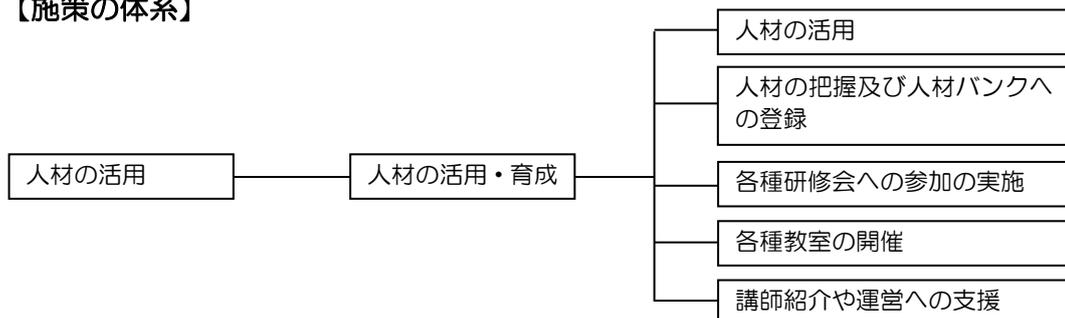
【基本方針】

多種多様な人材を発掘し、生涯学習活動が行える人材の活用に努めます。また、多種多様な学習の要望に応えるため、地域や行政が一体となって、幅広い人材の育成に努めます。

【施策の概要】

- 多様な人材を活用し、サークル活動や講座、平和学習等の生涯学習を進めます。
- 指導員にふさわしい人材を発掘し、人材バンク登録の充実を図ります。
- 各種教室の開催や各種研修会への派遣を行い、主体的に行動する指導員の育成と支援に取り組みます。

【施策の体系】



【参考データ】

学級・教室・講座等の実施状況

	内 容
学級	婦人学級、上の森学園、成人学級、健康づくり学級
教室	陶芸、料理、茶道、絵画、俳句、天気、民芸、カラオケ等
講座	パソコン、外国語、洋楽器、和音器、写真、薬草等
各種の事業	文化フェスティバル、公民館まつり、文化講演会、映画まつり等

(資料：教育委員会)

2) 学び合う環境づくり

現状と課題

- 教室・講座・研修会等の内容が固定化しています。
- 子どもから高齢者まで、地域で生きがいづくりができるようなサポートを行っています。
- さまざまなニーズにあわせた学習や講演会、シンポジウムなどの開催が求められています。
- 幅広い生涯学習を行うために、多様な講師の確保が必要です。
- 公民館や図書館等を利用した学習の場所を増やす必要があります。
- 高校生や大学生が地域の子供達に勉強等を教え合い、学びあえる環境づくりが必要です。

施策の方向

【基本方針】

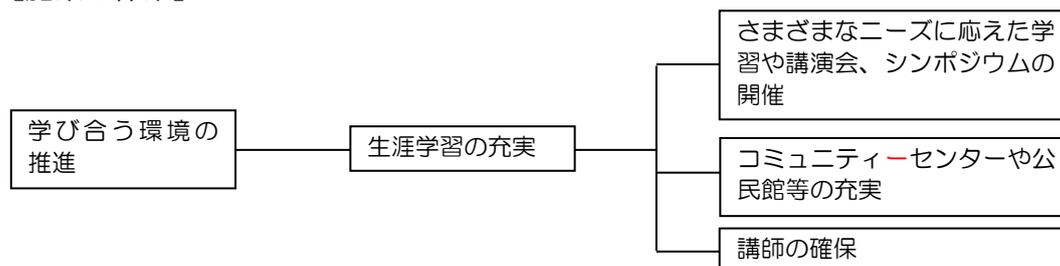
子どもから高齢者まで幅広い生涯学習を行うため、生きがいづくりとなる学習機会や各種活動の拠点となる学習環境の整備に努めます。

【施策の概要】

- 住民の教養を高めるため、さまざまなニーズに応えた学習や講演会、シンポジウムなどの開催に取り組みます。
- コミュニティセンターや公民館、図書館等を生涯学習の拠点として充実を図ります。
- 幅広い生涯学習を行うために、多様な講師の確保に努めます。



【施策の体系】



3) 青少年健全育成

現状と課題

- 夜間外出などの問題行動をおこす子ども達が見られます。
- インターネット等の普及により、有害サイトへのアクセスが容易になり、様々な悪影響が生じています。
- 子ども達に夜間外出をさせない環境づくりが求められています。
- 心豊かな人間になってもらうため、子ども達への心の教育を行う必要があります。
- 青少年を健全に育成するため、基本的生活習慣の確立を図る必要があります。

施策の方向

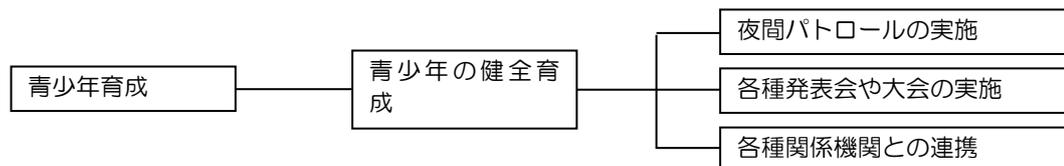
【基本方針】

次世代を担う青少年が、安全・安心で健全な生活を行うために、家庭や学校、地域が連携し、青少年の健全育成を図る取組みを進めます。

【施策の概要】

- 夜間外出などの問題行動を防止するために、関係機関と連携し、夜間パトロール等を進めます。
- 各種発表会や町民大会等を実施し、青少年の健全育成に取り組みます。
- 家庭や地域と連携し、各種行事の開催や子ども会などの活動をとおして、子ども達への豊かな心の教育に努めます。
- 基本的生活習慣の確立を図るため、家庭や学校、地域および各種関係機関と連携を図ります。

【施策の体系】



(4) 文化・スポーツ活動

1) 伝統文化の継承発展

現状と課題

- 小学校の授業の一環として、町の特産品のひとつである赤瓦工場の見学を取り入れています。
- 綱曳資料館において、与那原大綱曳に関連する資料収集及び展示を行なっています。
- 保育園や幼稚園の行事に与那原大綱曳を取り入れるなど、町の伝統文化である与那原大綱曳の継承に取り組んでいます。
- 町の伝統文化である与那原大綱曳を継承する人が少なくなっています。
- ふれあい文化フェスティバルの開催など、文化協会と連携した伝統文化の継承発展に取り組んでいます。
- 町の文化財や戦跡の調査を行っています。
- 町の歴史や文化などを広く住民に周知していくことが必要です。
- 町の文化財を保全していくための環境整備が必要です。
- 与那原町綱曳資料館の活用が少ないことから、資料館の周知や駐車場等の整備が求められています。
- まちづくりに伝統文化や歴史をどう取り入れていくかが課題となっています。

施策の方向

【基本方針】

本町には、与那原大綱曳や赤瓦などの歴史・文化資源や伝統芸能が先人から受け継がれています。町の重要な財産として今後も、歴史・文化資源の保全・活用を図り、伝統芸能の継承発展並びに新たな文化の創造に努めます。

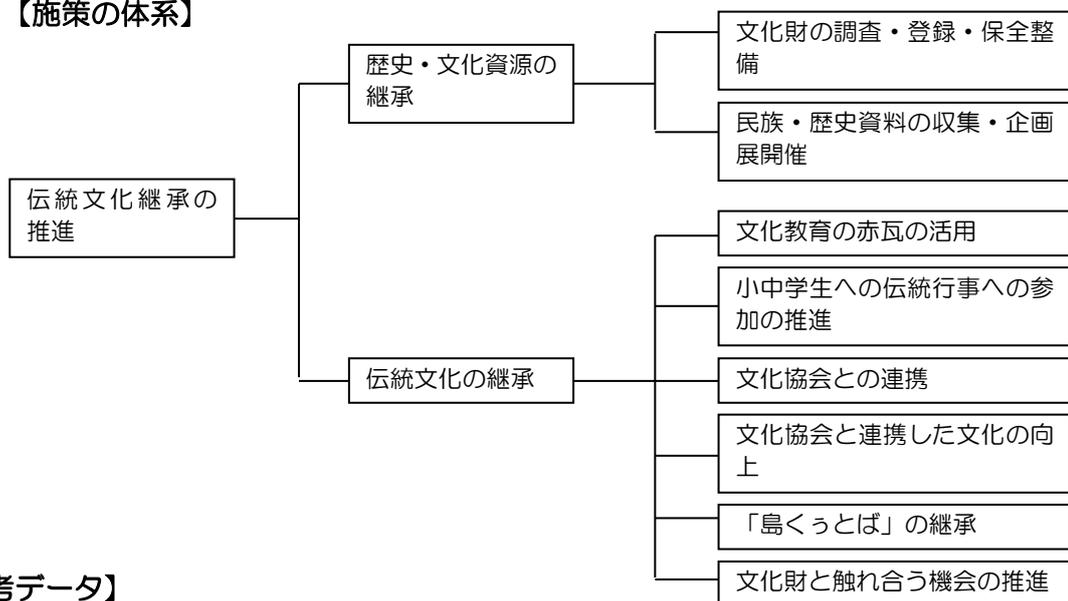
【施策の概要】

- 与那原町に存在する文化的価値のある資源や戦跡などの調査を行い、文化財登録やその保全整備に努めます。
- ホームページや広報紙等を利用し、歴史資料の収集を呼びかけ、それらの資料を活用した企画展などを開催します。
- 町の文化を教えていくボランティア組織をつくり、町の歴史や芸能・文化財などの案内活動を行ないます。
- 与那原町の特産品のひとつである赤瓦を教育の一環として取り入れます。
- 子どもたちに地域の伝統行事や、与那原大綱曳への積極的な参加を促します。
- 町文化協会と連携し、文化フェスティバルの開催や公民館まつり、その他の発表会をとおして、文化に対する町民意識の向上を図ります。
- 沖縄の伝統的な言葉である「島くぅとば」の継承に努めます。
- 歴史や文化財を活かしたまちづくりを推進します。

- 町文化協会と連携し、文化フェスティバルの開催や公民館まつりなど、さまざまな文化に触れあう機会をとおして、町民の文化に対する意識の向上に取り組むとともに、新たな文化の創造に努めます。



【施策の体系】



【参考データ】

町指定文化財

種別		名称	所在地	
1	有形文化財	久葉堂	与那原	与原区
2	有形文化財	久葉堂赤木	与那原	与原区
3	有形文化財	御殿山	与那原	与原区
4	有形文化財	与那原親川	与那原	新島区
5	有形文化財	東名大主	上与那原	上与那原区
6	有形文化財	久茂久岩	板良敷	当添区
7	有形文化財	三津武嶽	与那原	与原区
8	有形文化財	前の井	上与那原	上与那原区
9	有形文化財	宇地原子墓	板良敷	板良敷区
10	有形文化財	宗之増	与那原	中島区
11	有形文化財	中島のシーサー	与那原	中島区
12	有形文化財	新島のシーサー	与那原	新島区
13	有形文化財	板良敷のシーサー	板良敷	板良敷区

2) スポーツ活動の充実

現状と課題

- スポーツ少年団を中心としたスポーツ活動が行われていますが、子ども達の参加が少ない状況にあります。
- さまざまな競技やレクリエーションの指導者が少ない状況にあります。
- 住民が積極的にスポーツ活動に参加できる環境づくりが必要です。
- 地域総合型スポーツクラブの設立と、各種クラブやサークルへの支援が必要です。
- さまざまな競技、レクリエーションに対応できる指導者の育成と人材バンクへの登録促進を図る必要があります。
- マリーナや水路を生かしたマリンスポーツ活動を支援する必要があります。
- 誰でも気軽に取り組める生涯スポーツを充実させる必要があります。

施策の方針

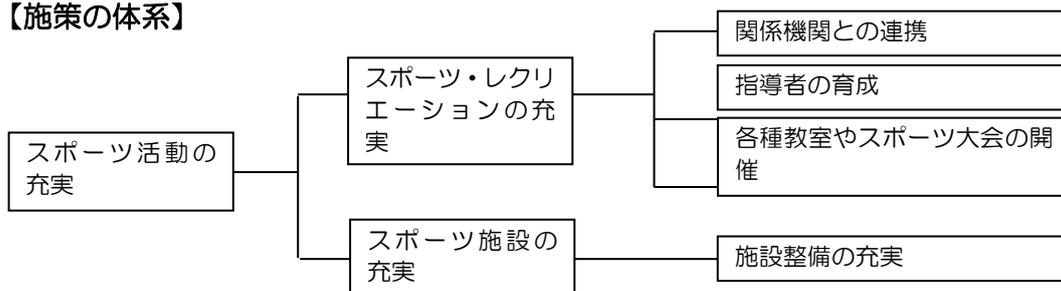
【基本方針】

子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加できる軽スポーツやレクリエーションの充実に努めます。また、学校及び関係機関と連携をとりながらスポーツ競技力の向上を目指して支援に努めます。

【施策の概要】

- ① スポーツ・レクリエーションの充実
 - 住民の健康増進としての生涯スポーツを推進する上で、関係機関と連携を図ります。
 - 住民が気軽に参加できるような各種教室やスポーツ大会を開催します。
 - さまざまな競技、レクリエーションに対応できる指導者の育成に努めます。
- ② スポーツ施設の充実
 - 各種スポーツ活動を行うための施設整備の充実を図ります。

【施策の体系】



5 教育の機会均等を図るための子どもの貧困対策の推進

現状と課題

- 就学支援制度により、経済的支援が必要な児童生徒が居る家庭への支援を行っています。
- 就学支援制度対象家庭の児童生徒を対象に、沖縄県と連携し、沖縄県子育て総合支援モデル事業（無料塾）を行っています。
- 教育的経済支援に留まらない家庭においては、生活保護制度等の申請支援を行っています。

施策の方向

【基本方針】

- すべての子どもが最低限享受すべき生活や教育の機会を権利として保障する観点から、子どものライフステージに即し、支援を必要とする子どもの状況に応じた切れ目のない施策を総合的に推進します。

【施策の概要】

- 就学支援制度の周知に努め、支援が必要な世帯を支援します。
- 沖縄県子育て支援モデル事業を継続し、児童生徒の学習を支援します。
- 教育の支援においては、学校を子どもの貧困対策のプラットフォームと位置付け、学校教育による学力の保障、学校を窓口とした福祉関連機関との連携及び経済的支援を通して、総合的に対策を推進します。
- 貧困状態にある子どもの保護者に対しては、生活の支援、就労の支援、経済的支援などの相談充実に取り組みます。
- 沖縄県等と連携し、経済的な支援を要する世帯への更なる支援充実に努めます。



与那原町